

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】令和2年2月13日(2020.2.13)

【公開番号】特開2018-106335(P2018-106335A)

【公開日】平成30年7月5日(2018.7.5)

【年通号数】公開・登録公報2018-025

【出願番号】特願2016-250558(P2016-250558)

【国際特許分類】

G 16 H 10/00 (2018.01)

【F I】

G 06 Q 50/24

【手続補正書】

【提出日】令和1年12月26日(2019.12.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

1又は複数の読影依頼に対応する複数の読影結果を取得する取得手段と、

前記取得された複数の読影結果の夫々の内容に基づいて、前記取得された複数の読影結果の夫々の優先順位を決定する決定手段と、

前記決定された優先順位で並び替えられた前記取得された複数の読影結果の一覧を生成する生成手段と、

を有することを特徴とする情報処理装置。

【請求項2】

前記決定手段は、前記取得された複数の読影結果のうち、緊急情報が含まれる読影結果の優先順位を、他の読影結果の優先順位よりも高い優先順位に決定することを特徴とする、請求項1に記載の情報処理装置。

【請求項3】

前記生成手段は、前記緊急情報が含まれる読影結果が、前記他の読影結果とは識別可能となるように、前記一覧を生成することを特徴とする、請求項2に記載の情報処理装置。

【請求項4】

前記決定手段は、前記取得された複数の読影結果のうち、複数の読影医により入力された判定結果が互いに異なる読影結果の優先順位を、他の読影結果の優先順位よりも高い優先順位に決定することを特徴とする、請求項1乃至3の何れか1項に記載の情報処理装置。

【請求項5】

前記決定手段は、前記取得された複数の読影結果のうち、異常なしの判定結果が含まれる読影結果の優先順位を、他の読影結果の優先順位よりも低い優先順位に決定することを特徴とする、請求項1乃至4の何れか1項に記載の情報処理装置。

【請求項6】

前記決定手段は、前記取得された複数の読影結果の夫々に含まれる判定結果に基づいて、前記優先順位を決定することを特徴とする、請求項1乃至5の何れか1項に記載の情報処理装置。

【請求項7】

前記生成手段は、ユーザからの指示を受け付けることなく、前記一覧を生成することを

特徴とする、請求項 1 乃至 6 の何れか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 8】

前記 1 又は複数の読影依頼は、D I C O M 規格の医用画像を用いた読影の依頼であることを特徴とする、請求項 1 乃至 7 の何れか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 9】

前記 1 又は複数の読影依頼は、依頼施設から読影センターに送信された読影依頼であることを特徴とする、請求項 1 乃至 8 の何れか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 10】

1 又は複数の読影依頼に対応する複数の読影結果を取得する取得工程と、
前記取得された複数の読影結果の夫々の内容に基づいて、前記取得された複数の読影結果の夫々の優先順位を決定する決定工程と、
前記決定された優先順位で並び替えられた前記取得された複数の読影結果の一覧を生成する生成工程と、
を有することを特徴とする情報処理装置の制御方法。

【請求項 11】

請求項 1 乃至 9 の何れか 1 項に記載の情報処理装置としてコンピュータを機能させることを特徴とするプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 8】

本発明は、読影結果の一覧を確認するユーザの負荷を軽減することを目的とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 9】

本発明に係る情報処理装置は、以下の構成を有する。すなわち、情報処理装置は、1 又は複数の読影依頼に対応する複数の読影結果を取得する取得手段と、前記取得された複数の読影結果の夫々の内容に基づいて、前記取得された複数の読影結果の夫々の優先順位を決定する決定手段と、前記決定された優先順位で並び替えられた前記取得された複数の読影結果の一覧を生成する生成手段と、を有することを特徴とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 1

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 2 】

本発明により、読影結果の一覧を確認するユーザの負荷を軽減することが可能となる。